

ぶらり らいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 246



*利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。
(書名の後の () の数字は請求記号です。)

(問) 戦時中の漫才^{まんざい}の台本が読みたい。

(答) 検索端末を利用してキーワード検索をしてみましょう。

図書 ⇒ タイトルから探す ⇒ **漫才** ⇒ 13件ヒット

『昭和の漫才台本 第3巻』(779/A37/3 地下書庫和図書 060003524)

『「戦争と漫才」(復刻) エンタツアチャコ集』(779/Se73 地下書庫和図書
060002766)




また、「時局漫才」というキーワードでも検索することができます。

なんでも検索 ⇒ **時局漫才**で検索 ⇒ 22件ヒット

『愛国婦人 第112号(昭和15年7月)』(051/A25/112 閉架雑誌
100019666)

『青年 第25巻第8号(昭和15年8月)』(051/Se19/25-8 閉架雑誌
100035988)

 さらに知りたい!

当時、漫才の台本を書いていた「秋田^{みのる}實」について知りたい。

なんでも検索 ⇒ **秋田實**で検索 ⇒ 138件ヒット

上部の **資料の種類** の 図書 に ⇒ 26件ヒット

『秋田實 笑いの変遷』(779/F67 地下書庫和図書 060006698)

『戦時演芸慰問団「わらわし隊」の記録』(210.7/H47 開架一般 000051563)

秋田實は近代漫才の父と呼ばれ、漫才発展のために力を^つ尽くしました。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。

検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。

操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。



1964年 東京パラリンピック



日本における障害者スポーツの幕開け

身体障害者によるスポーツの祭典として知られるパラリンピック。オリンピックの直後に同じ都市、同じ会場を用いて開催され、脳性麻痺や視覚障害、運動機能障害など、障害を持つ選手がさまざまな競技に挑み、人々に勇気や感動を与えています。

日本では、昭和39年（1964）に開催された東京パラリンピック（第13回国際ストーク・マンデビル競技大会）をきっかけに障害者スポーツが大きく発展しました。

それでは、初の自国開催となったこのパラリンピックは、どのように実現したのでしょうか。

昭和34年（1959）、西ドイツ（現・ドイツ連邦共和国）のミュンヘンで行われたIOC（国際オリンピック委員会）総会において、第18回夏季オリンピックの開催地が東京に決定。翌年、欧米に比べ遅れをとっていたリハビリテーションについて学ぶため、国立別府病院（現・国立病院機構別府医療センター）の医師・中村裕らがイギリスに渡り、パラリンピックの創始者である医師・ルードヴィヒ・グッドマン博士のもとを訪れました。その際、博士から東京オリンピックの後に引き続き、障害者の国際的なスポーツ大会である国際ストーク・マンデビル競技大会を開催してほしいとの要請を受けます。

帰国後、開催への道を模索するものの、当時の日本は、障害者の治療といえばマッサージや温泉療法が主流でリハビリも普及しておらず、患者にスポーツをさせることに対しても反対の意見が多く寄せられる状況でした。また、体制や環境整備のほか、資金の確保や短期間での選手育成など、数々の課題を抱えていました。

しかし、グッドマン博士の教えに感銘を受け、障害者の社会復帰には、スポーツによるリハビリが有効であると考えた中村医師の尽力や、代表選手を多く送りだした箱根療養所（現・国立機構箱根病院）の患者や訓練生ら、障害者の努力により無事開催にこぎ着けます。

11月8日から12日まで、5日間の日程で行われた大会には、21か国から378名の選手が参加。日本からは53名の選手が参加し、金メダル1個、銀メダル5個、銅メダル4個、計10個のメダルを獲得しました。

また、英語で下半身麻痺を意味する「パラプレジア」と「オリンピック」を組み合わせた「パラリンピック」という言葉も日本で生まれ、この大会で初めて広く使われるようになったといわれています。

【参考文献】『日本のオリンピック・パラリンピック 昭和館特別企画展図録』（780/Sh97 昭和館刊行物）
『パラリンピック東京大会報告書』（780/Ko51 地下書庫和図書）
『パラリンピックと日本』（780/Ta84 開架一般）
『中村裕 日本のパラリンピックの父』（780/N37 開架児童書）

※図書室では7/1～8/31までの間、ハングオール展示「オリンピック・パラリンピックの本を読んでみよう！」を開催しています。参考文献も展示しています。ぜひご覧ください。

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ NO. 246

2021年7月20日 発行/ 編集・発行 昭和館 図書室 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1